

5月2日（月）13:20— 14:50（90分間）

参加者：神戸大学

大学生 15人 オンライン

テーマ：揺らぎ

鑑賞作品：

ピーテルクラーズ「ヴァニタス」

<https://www.mauritshuis.nl/ontdek-collectie/kunstwerken/943-vanitas-stilleven/>



：ブレイクアウトルームのペアを決めて設定しておく

：セブンプリントで手元に印刷しておく

：評価

<p>挨拶・自己紹介・流れ説明</p>	<p>今日は鑑賞ということで、「絵を見る」ということをしてもらいますが、これは受動的なものではなく、非常に能動的、創造的な行為でもあります。</p> <p>鑑賞するとき、ほとんどの人はそこから自分の「解釈」を作っていきます。「これは何々に見える」「赤色だ」というのも解釈ですし、「こういう意味ではないか」とか「こういう感想を持った」というのも自分の解釈を作っていると言えるので、鑑賞しながらも私たちは物を作っている、表現していると言えます。要するに今日の授業は、今後始まる表現系の授業の導入でもあるということです。</p> <p>さて、その中で今回の授業の「揺らぎ」というテーマを考えるならば・・・  「揺らぎ」＝揺れ動くこと：差異・逸脱・ノイズ  対義語はなんでしょうか。  「定まり」＝決まっていること（とされること）：一致・平均値・パターン</p> <p>鑑賞で言えば「個々の解釈」と「一般的な解説」との関係と言える。</p> <p>鑑賞するなら、まず解説を知るべきだとか、それを知るのが鑑賞では？と思う人もいるかもしれませんが。ただその一方で、私たちは鑑賞の中で勝手に多様な解釈を自由に作ることができます。</p> <p>今日は、鑑賞における「定まり」＝解説と、「揺らぎ」＝個々の解釈について、その関係性について、考えを深める授業になります。</p> <p>その関係性は相互的＝線に見えるものも、拡大するとノイズの集まりに、さらに拡大すると規則性が見えることもある。</p> <p>本日の流れ  最初に個々で絵を鑑賞して、その後ペアに分かれて意見共有。  次に、鑑賞作品の一般的な解説を提示。  その上で、皆さん一人一人が作った解釈とはどういう意味を持つのか、もしくは「一般的に言われている解釈」とどのような関係であるべきなのかについて再びペアで対話。</p> <p>今日の授業を通したポイント  1つ：定まりに対して、非常に「些細なこと」「細やかなこと」（ずれ、ゆらぎ）に耳や目を向けて、感じ・考えるということ。</p> <p>2：初心者であることや無知であることの価値。何かを知るということで、固定化が始まります。知ってしまったら、初心に戻ることは非常に困難。揺らぎを産むハードルは上がる。初心であることは、新鮮なブレや揺らぎを生みやすいことであり、それは皆さんが持っているアドバンテージ。</p> <p>3：安心環境を作る。  今日皆さんは誰の発言も全て受け止めてください。全て肯定してください。お互いがそういうスタンスであれば、どんなことを話しても大丈夫な、非常に豊かで安全な環境ができます。物を作る上で、アイデアを出す上で、これほど重要な条件はありません。</p> <p>13:35</p>	<p>15</p>	<p>15</p>
<p>鑑賞</p>	<p>個々で3分鑑賞  普通に思ったことが大事。なんでもないことが重要。  後で対話するので、メモを取る。 13:40</p>	<p>5</p>	<p>20</p>

共有	<p>対話のルールを確認しつつ、ペアでブレイクアウトルームへ3～4分間ずつ、お互いの感想について話し、共有。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・順番を決め、一方が感想を話し続け、もう一方は聴き続ける。</li> <li>・交代して繰り返す。</li> <li>・相手の話をよく聞くこと。受容のリアクションすること。</li> <li>・安心環境大事。質問・追い鑑賞もOK。</li> <li>・印象的だったこと、気づいたことを</li> <li>・後でチャットに書き込んでもらうので、必要な人はメモ。</li> </ul> <p>13:50</p>	10	30
チャットに書き込み	<p>チャットに書き込み・拾い読み</p> <p>13:57</p>	7	37
解説	<p>絵についての一般的な解説と問いかけ</p> <p>「ヴァニタス」は、ラテン語で「空虚・虚しさ」。</p> <p>寓意的な<b>静物画</b>のジャンルのひとつ。</p> <p>16世紀から17世紀にかけてのフランドルやネーデルラントなどヨーロッパ北部で特に多く描かれたが、以後現代に至るまでの西洋の美術にも大きな影響を与えている。</p> <p>ヴァニタスとは「<b>人生の空しさの寓意</b>」を表す<b>静物画</b>であり、豊かさなどを意味するさまざまな静物の中に、人間の死すべき定め<b>の隠喩</b>である頭蓋骨や、あるいは時計やパイプや腐ってゆく果物などを置き、<b>観る者に対して虚栄のはかなさを喚起する意図</b>をもっていた。</p> <p>「問いかけ」</p> <p>今話した「一般的に言われている解釈」に対して、皆さん一人一人が作った解釈とはどういう意味を持つのか。またどのような関係であるのか。14:07</p>	10	47
整理	<p>個々で考えを整理 14:10</p>	3	50

<p>対話2</p>	<p>鑑賞での「揺らぎ・定まり」の関係について ペアで対話して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どう捉えたのか互いに共有し、共通点、相違点を考える。</li> <li>・ 何を言っても良い。うまく話すのではなくよく聞き考える。</li> <li>・ 時間が来たら終わる。結論が目的では無い。</li> </ul> <p>よりわからなくなったり、問いが生まれる方が望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この対話内容・もしくは考察をレポート提出してもらうので、</li> </ul> <p>よく聞いておくこと。必要あればメモを取ること。</p> <p>(＊自分が他のペアの内容を知りたいと思う気持ちがあるだろうから、その気持ちに答えられるようなレポートが望ましい。)</p> <p>14:35</p>	<p>25</p>	<p>80</p>
<p>まとめ</p>	<p>学生を1～2人ほど当てて、先程の対話内容を聞く。 それに応える形でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々人の中にある解釈の揺らぎ。・ 一般的な解釈・作者の意図に対する、鑑賞者の解釈としての揺らぎ。・ 「一般的な解釈・作者の意図」自体の揺らぎ。情報の信憑性。情報の更新。</li> <li>・ 「揺るぎないもの・平均値・断定（～であるとされるもの）」と、それに対する「揺らぎ（多様な解釈）」＝同一性（仮固定性）とその逸脱の行き来をすることが創造することであり、その不断の更新が重要である。</li> </ul> <p>また、「同一性からの逸脱」というのは、特殊なことを行う、突飛なことをするというのではなく、それぞれのそのままのありようを丁寧に見つめ、隔てることなく耳を傾け、些細な揺らぎに気づき、受容することである。</p> <p>以上</p> <p>14:50</p>	<p>15</p>	<p>90</p>